

▼カボメティクス錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】カボザンチニブ リンゴ酸塩 Cabozantinib Malate 【分類】抗悪性腫瘍剤 [キナーゼ阻害剤]

【単位】▼20mg・▼60mg/錠

【常用量】60mg/日 [適宜減量] ■減量レベル：60mg→40mg→20mg→中止

【用法】1日1回空腹時

【透析患者への投与方法】検討されていない (1) がおそらく減量の必要はない (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】体内動態からは減量の必要なし (5) eGFR30 未満：検討されていない (1) AUC が最大 30%高くなるため慎重に適用 (Nguyen L, et al: J Clin Pharmacol 2016 PMID: 26865195)

【特徴】血管内皮細胞増殖因子受容体 2 (VEGFR2), 肝細胞増殖因子受容体 (MET), AXL 等のキナーゼを阻害し、シグナル伝達を阻害することで腫瘍増殖抑制作用を示す。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【吸収】食事により吸収が増大するため、食事の1時間前から食後2時間までの間の服用は避ける (1) 食事により AUC 約 1.5 倍 (1) 胃酸分泌抑制剤の影響は認めない (Nguyen L, et al: J Clin Pharmacol 2015 PMID: 25907407)

【F】50.6% (1)

【tmax】2~4hr (1)

【代謝】CYP3A4 で代謝 (1) 代謝物の薬理活性は未変化体の 1/10 以下

【排泄】尿中回収率 27.29% [po, 48 日後] (1, Lacy S, et al: Drug Metab Dispos 2015 PMID: 26015560)

【CL/F】2.35L/hr (1) 男性 106L/day, 女性 83L/day [22%低下] (Miles D, et al: Clin Pharmacokinetics 2016 PMID: 26149244)

【t1/2】 $k_e=0.00642/hr$ から, 108hr (1)

【蛋白結合率】99.7%以上 (1)

【Vd】363L/man (1) 349L/body (Miles D, et al: Clin Pharmacokinetics 2016 PMID: 26149244)

【MW】635.59 [salt]

【透析性】透析されない (5)

【OW 係数】

【相互作用】CYP3A4 誘導, P-gp 阻害作用あり (1) CYP3A4 誘導剤や阻害剤の影響を受けて経口クリアランスが変化 (Nguyen L, et al: J Clin Pharmacol 2015 PMID: 25854986) 未変化体と代謝物の EXEL-1644 はトランスポータを阻害する (Lacy S, et al: Drug Metab Dispos 2015 PMID: 26015560)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【備考】60mg 投与時は 20mg 規格錠剤を使用しない (1)

【更新日】20220926

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。